

第2回 中之口老人福祉センター指定管理者申請者評価会議 会議録

開催日時	令和8年1月16日（金）午後2時00分から
会場	西蒲区役所 3階 301会議室
評価会議委員	鈴木 一生 （西川地区民生委員児童委員協議会 副会長） 田中 久美子（西蒲区自治協議会 総務部会長） 田邊 新作 （中之口地区民生委員児童委員協議会） 本間 敏 （公認会計士） 森田 広海 （巻東地区民生委員児童委員協議会 会長） 松川 義明 （社会保険労務士）
申請者	1者
傍聴者	0名
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 課長挨拶</p> <p>3. 事務局からの連絡、報告</p> <p>4. プレゼンテーション・ヒアリング</p> <hr/> <p>・申請者プレゼンテーション</p> <p>・ヒアリング</p> <p>（鈴木委員） 送迎バスのサービスがあるが、車両は元々会社で所有しているものか。</p> <p>（申請者） 送迎バスは市の仕様書の業務であり、指定管理料で車両は用意する。</p> <p>（松川委員） 賃金に送迎バスの方が載っていなかった。雇用なのか、委託業務なのか疑問に思ったので確認したい。</p> <p>（申請者） あくまで、市の仕様に入っている送迎業務については、シフトの中に組み込んで人件費を計算している。弊社で提案している「買い物支援」は仕様書の業務外のものであり、あくまで提案の一つとして入れているものなので、弊社が選定された場合は、市と相談しながら進める必要があると考えている。</p> <p>（松川委員） 賃金について、現在のパートさんを引き継ぐことも想定されていると思うが、指定管理料のパートさんの賃金を、最低賃金で算出しているが、最低賃金でよい業務内容だと思っているのか確認したい。</p> <p>（申請者） 最低賃金でよい業務という用語弊がある。限られた指定管理料で、保守点検など安全に関する業務は削ることができない中で、どのようにスタッフのオペレーションの業務効率化をしながら、人件費を使っていくか試算し、一旦、最低賃金で計算している。ただ、弊社では、毎年評価制度を設けているので、老人福祉センターのチーフ業務を任せている職員に関しては、業務に応じて年1回昇給の機会を設けている。</p>

昇給に見合うチーフ職員の教育も行っている。

(田邊委員) 前回9月の評価会議で、障がい者雇用を3月末までに法定雇用率100%達成すると伺っていたが、今回もそれでよいか。

(申請者) 今一度確認したところ、法令では、弊社の従業員数では、障がい者雇用率を2.5%以上満たすようになっている。現在2.8%となっており現状は満たしている。

(田邊委員) 今回、指定管理者が変わるということで、送迎バスが無くなるのではないかと心配していた。新規で色々と計画しているようだが、買い物支援はどこを想定しているか。

(申請者) 今のところの提案では、色々と距離を試算し、A店を検討している。市の仕様書とは別のものになるので、市へ相談させていただきながら慎重に進めていくものになる。

(本間委員) 経費節減の面で、御社の特に優れている点、セールスポイントがあれば教えていただきたい。逆に弱み、改善しないといけない点があれば、経費節減に関わらず教えていただきたい。

(申請者) 経費節減について、中之口老人福祉センターについては、これからの提案になるが、現在弊社で運営させていただいている他の老人福祉センターでは、電力自由化ということで、色々な業者と契約できるようになり、B社というガス供給会社と、限られた施設にはなりますが、契約して電力の供給をしてもらっている。施設規模にもよりますが、従来のC会社契約よりも数万円から数十万円単位で、経費節減となっている。環境に配慮しながら、クリーンな電気を導入している。検討段階ですが、水道料金を削減できる取組みができるかどうか、準備を進めている。デメリットは、今のところ思い浮かばない。

5. 評価委員による評価・意見交換（非公開）

6. 閉会